



なんじゃこりゃ!!

キムラゴモを描け...と

谷川さんが見たキムラの想像図

採集観察会 入門 00

パルニングするところの初心者



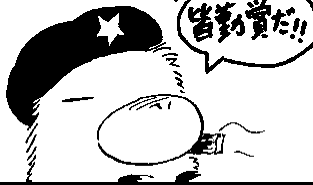
その4: 1シーズン参加してみても...

ハリガイトモエキ

2007年度採集会を
1シーズン4回、参加し
通した。

2007年度採集観察会
都筑中央公園 (神奈川県横浜市)

- ☑ 第1回 5月13日
- ☑ 第2回 7月8日
- ☑ 第3回 10月14日
- ☑ 第4回 2月3日



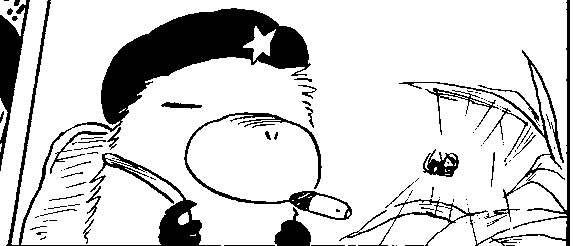
初参加の第1回は
ゾーになるかと思いたが

あんな小さい子までが
よくクモの名を知ってる!!



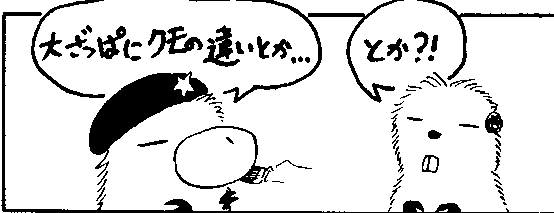
こりゃ
ヒメグモの類だな..

回を重ねる毎に
色々と馬鹿れた



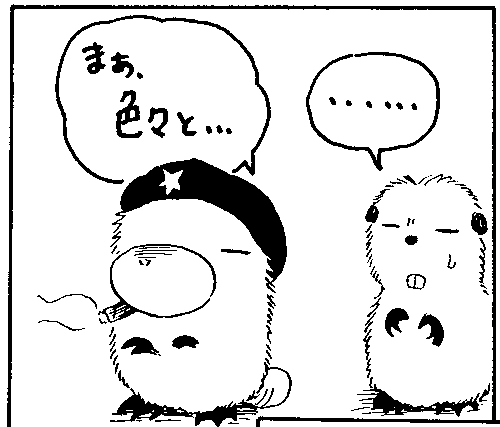
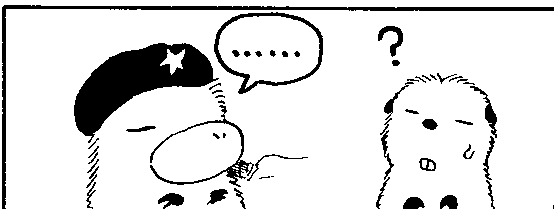
大抵はヒメグモの遠いかな...

とか?!



まあ、
色々...

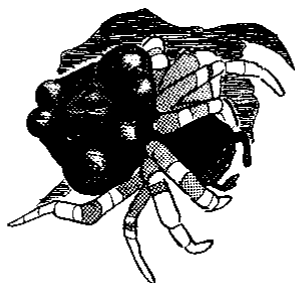
.....



それは、さておき...

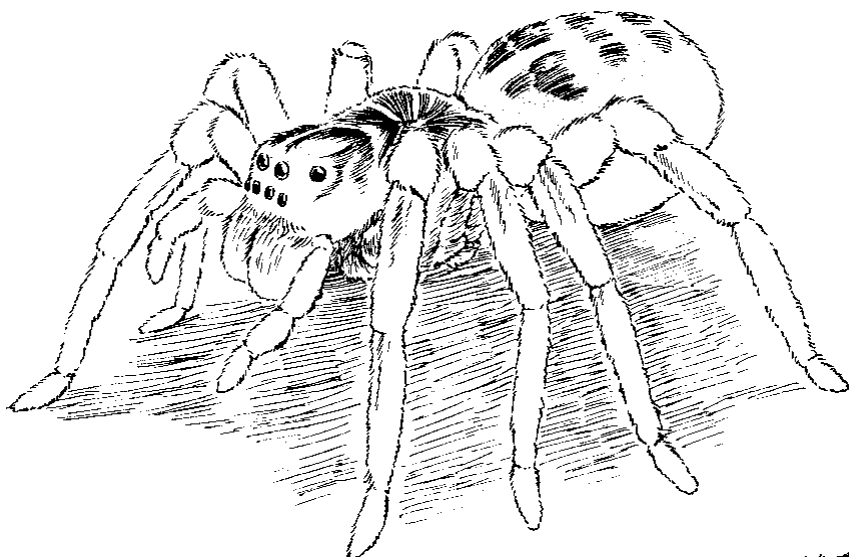
採集会で
印象的だったのは...

まずは萩本果南さん
に見せてもらった
イセキグモ!



※ こんな感じだった...という絵で
スミセン...

それから採集会で採れた
ワモではないのですが....

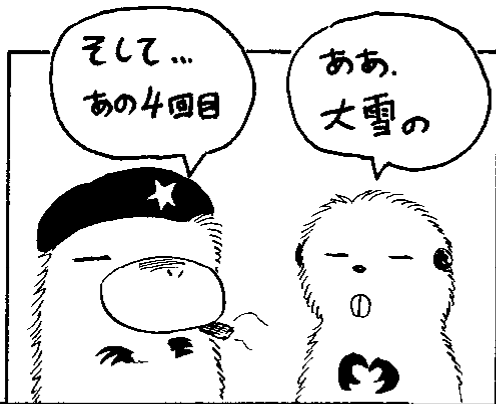


写真でのイメージは
グーだったのですが、実物見て
あんな白いとは、びっくりしました。

手元に
標本
ないの？
こんな感じ
だったかな...



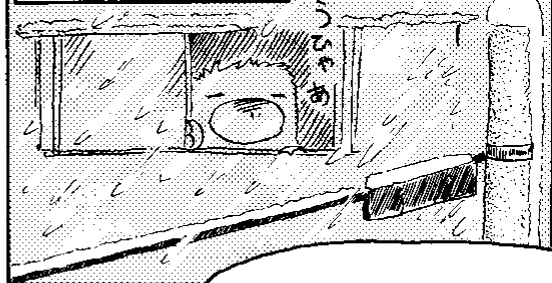
貞元さんが持ってきて
見せて下さった、イソコモリ。



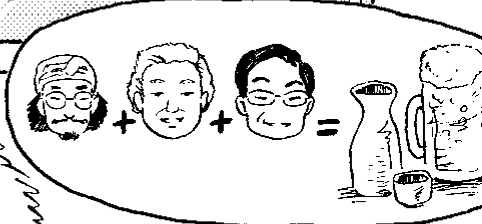
そして...
あの4回目

ああ、
大雪の

2月3日...
朝起きると雪

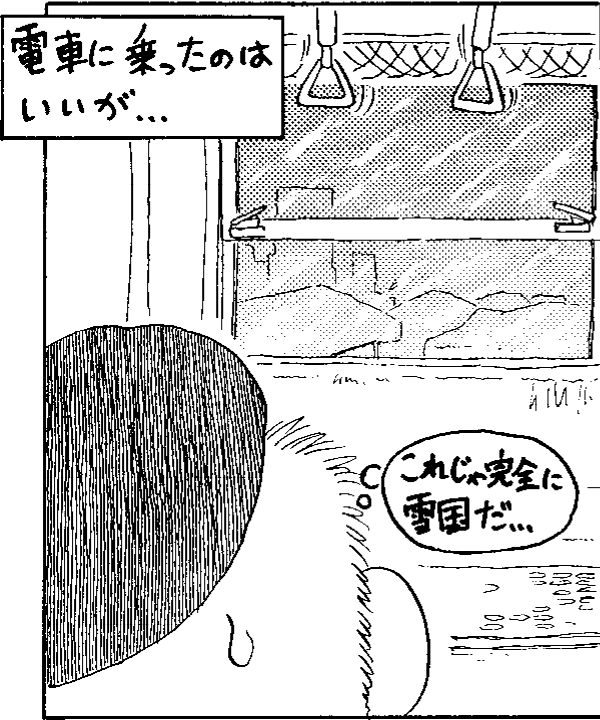


キシダイアで前回、雨だった
2006年度、4回目の参加を
調べると、なかなか濃厚な
顔ぶれ...



ふむ...

桜集会は無くとも
飲み会はあるだろうと
予想して...



電車に乗ったのは
いいが...

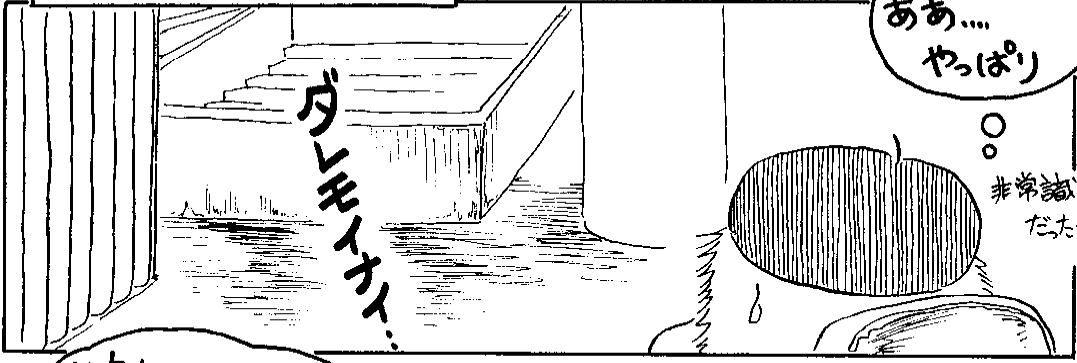
これは完全に
雪国だ...



さすがに非常識かと思い、
篠本さんへ連絡しようとしたが

その日に限って「通信」を忘れ
連絡先を控えていない...

センター南駅に着くと...

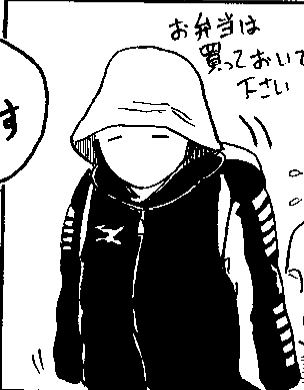


ああ... やっぱり

非常識 だが...

仕方ない... 独りパイプを吸って帰るか...

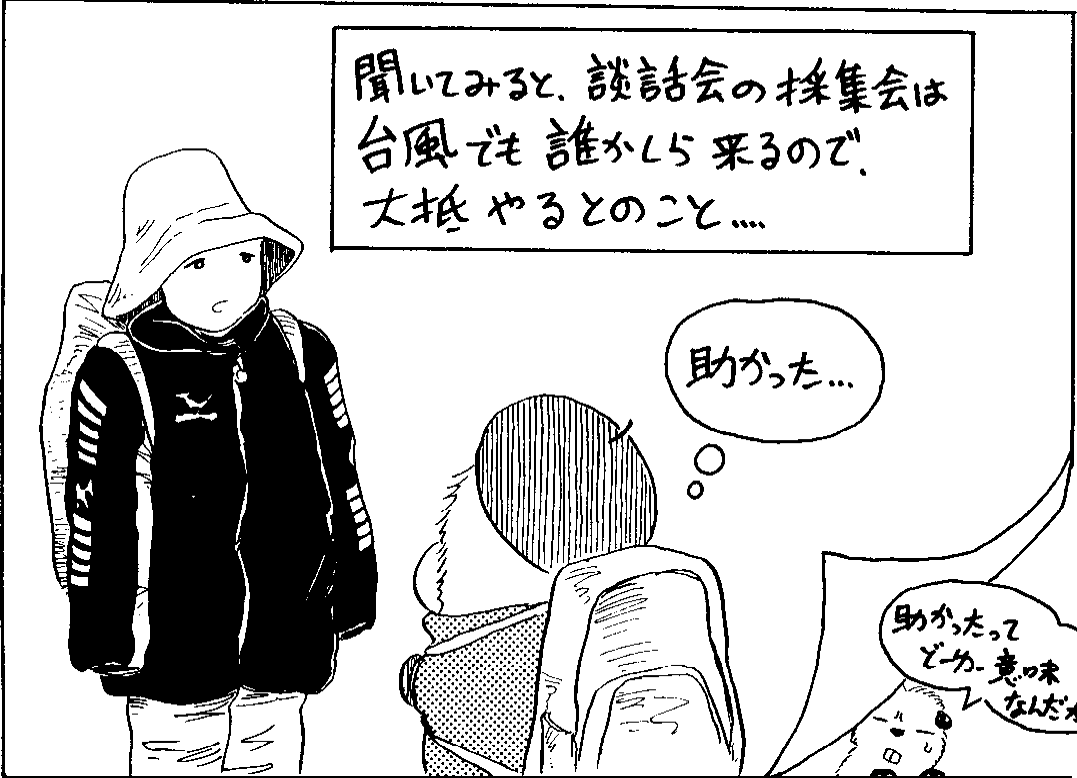
お早よう ございます



お弁当は 買っておいで 下さい

え!? あれ?

萩本さん?

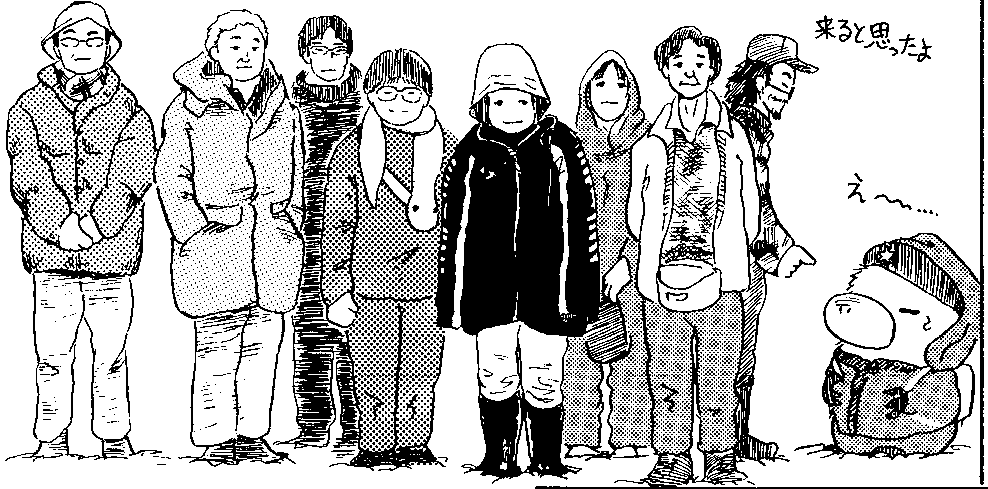


聞いてみると、談話会の採集会は 台風で誰かしら来るので、 大抵やるとのこと...

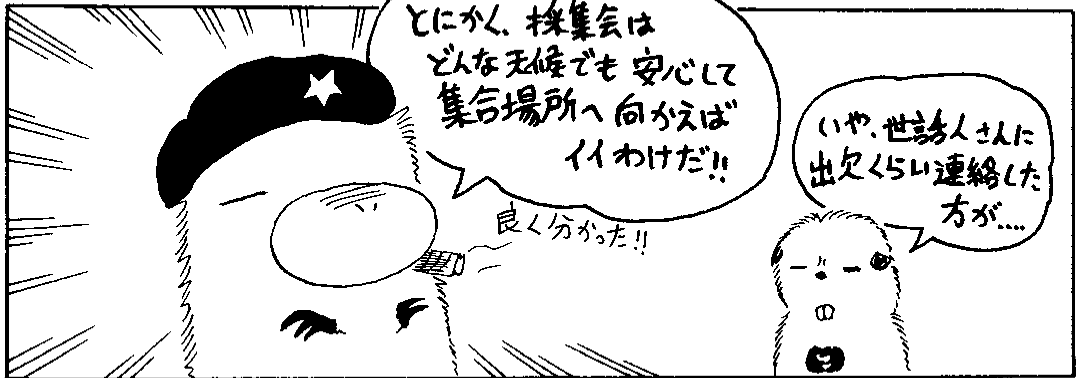
助かった...

助かった。と なんか意味 ないだが

確かに...最終的に濃い〜顔ぶれが集まっていた。



しかも、私はすっかりその中の一人に



とにかく、採集会は
どんな天候でも安心して
集合場所へ向かえば
イワけた!!

良く分かった!!

いや、世話人さんに
出欠くらい連絡した
方が...

とりあえず、入門!!



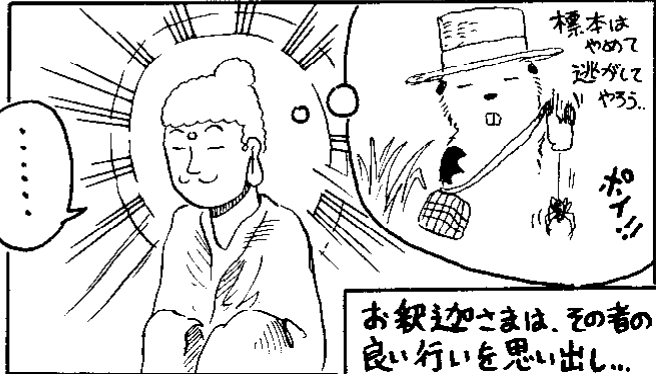
コナノ

もう、雪の日くらい
そとにおいで欲しいな...

〜Fin〜



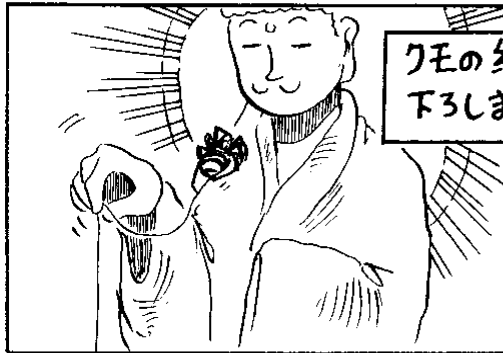
プチ談話
クモの糸



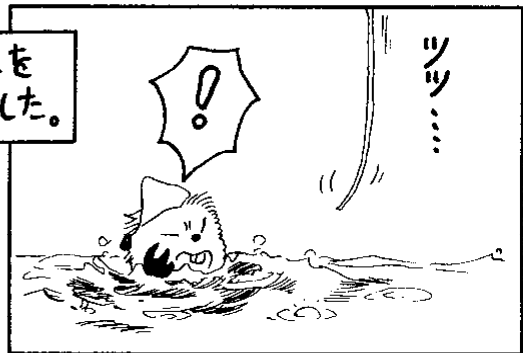
標本は
やめて
逃がして
やろ...

ハイ!!

お釈迦さまは、その者の
良い行いを思い出し...



クモの糸を
下ろしました。

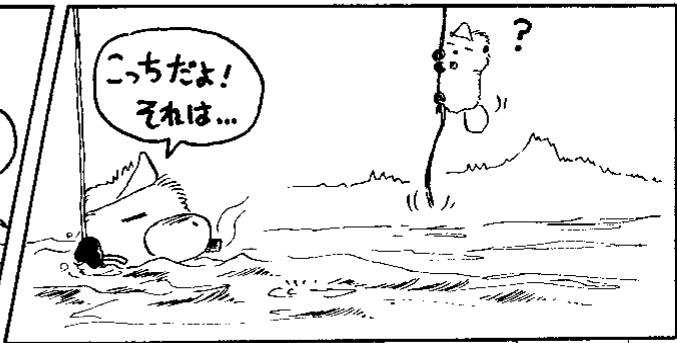


ツツ...



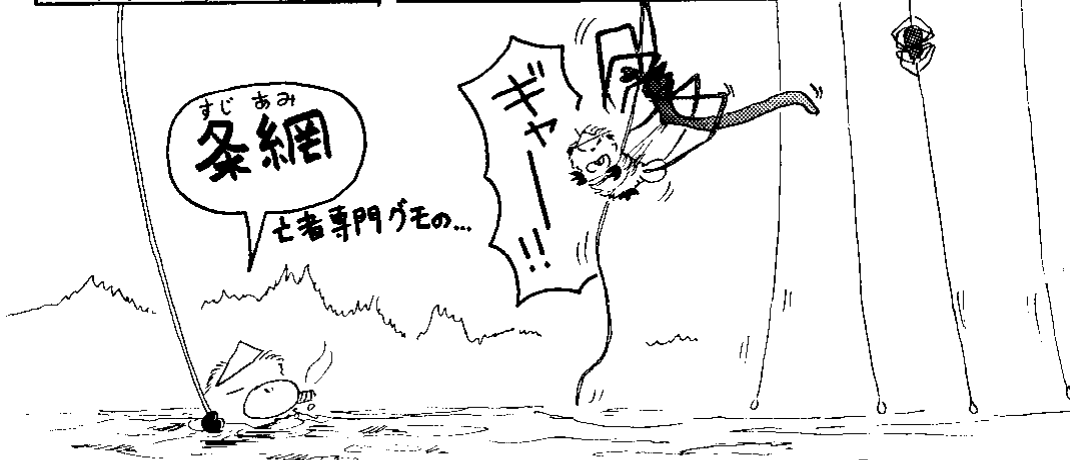
助かった...

ビーン



こっちはよ!
それは...

?



すじ おみ
糸網

と者専門クモの...

ギヤーン!!

~ Fin ~

2008 年度 東京蜘蛛談話会 11 月例会

1. 日時 2008 年 11 月 30 日(日) 10 時より(開場 9 時 30 分)
2. 場所 東京環境工科専門学校 〒150-0011 東京都渋谷区東 2-5-3
「JR 渋谷駅」東口(東急文化会館側)より、「学 03 日赤医療センター行」
バスにて約 5 分、「國學院大學前」下車、徒歩 1 分、170 円
3. 連絡 当日は、東京環境工科専門学校の電話が使用できないので、緊急時には以下に
連絡ください。加藤輝代子 090-7012-6458 初芝伸吾 090-6156-8378
4. その他 プロジェクター、OHP 等用意いたします。
5. 同封のはがきで、氏名、連絡先、出欠、講演の有無、講演ありの場合には演題と使用
希望機材(スライド、OHP、コンピュータ)をお知らせください。また、近況
をお知らせいただくと幸いです。また、はがき以外の手段で下記にご連絡いた
だいてもけっこうです。

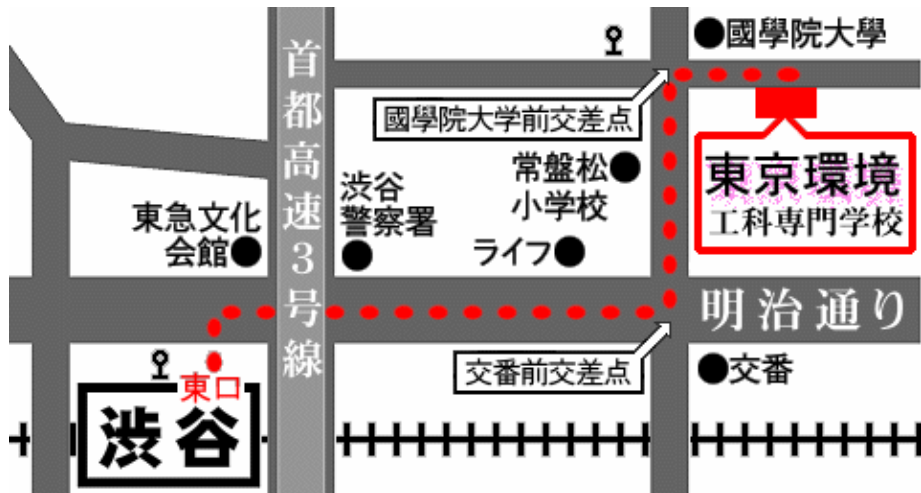
〒186-0002 東京都国立市東 3-11-18-203 有限会社エコシス
初芝伸吾

mail : hatsushiba-ecosys@h8.dion.jp

Tel : 042-501-2651 Fax:042-501-2652

渋谷駅東口から徒歩 15 分です。坂道がありますので、バスを利用した方がよろしいか
と思います。

東京環境工科専門学校及びその周辺には駐車場ありません。



東京蜘蛛談話会の会費は、一般 3800 円、学生 2000 円です。

郵便振替口座 00170-8-74885 東京蜘蛛談話会へお願いします。

会費のことは：会計担当 安田明雄 〒231-0861 横浜市中区元町 5-219

TEL : 045-641-0763 E-mail : kobato@gol.com

2008 年度観察会

1. 期 日： 第 3 回 10 月 19 日（日） 第 4 回 2 月 15 日（日）
2. 場 所： 北本自然観察センター
3. 世話人： 平松毅久
4. 集 合： JR 高崎線北本駅西口改札前 午前 10 時
チサン団地経由北里メディカルセンター行きバスで自然観察公園下車
所要時間約 13 分，料金¥180 . 10 時 4 分発のバスに乗車予定ですので 10 時
にはすみやかにバス停に移動します .
バスの時刻： 10 時台は 4 分，20 分，37 分(石戸蒲桜入口行き) ，51 分
高崎線大宮 北本：9 時 8 分(前橋行) 27 分着 ，9 時 18 分(高崎行快速) 40
分着 ，9 時 34 分(籠原行) 53 分着 ，9 時 42 分(高崎行) 10 時着
観察会会場周辺にはコンビニ ，売店等はありませんので ，事前にご用意下
さい . また参加者の方には腕章をつけてもらいますので ，遅れて来られる方
は平松の PHS(070-5586-1346)までご連絡下さい .

みんなで参加しよう！クモの BBS（掲示板）

クモの BBS を代表して 初芝伸吾

昨年の東京蜘蛛談話会の例会で，クモの BBS が有ることを知りました . カメムシ類などの昆虫類の BBS は知っていましたが，例会の時までクモの BBS が有ることを全く知りませんでした . 今回紹介しますクモの BBS では活発に情報交換されています . BBS の良い点は，綺麗な画像が多く見られることだけではなく，聞きたいことや発見したことなどを瞬時に書き込んで，大体その日のうちに，答えが返ってきます .

ただ，クモの専門家（分類や生態研究者）があまり参加していないので，質問に答えられない場合や確定できない場合もあります . ここで，東京蜘蛛談話会に所属している方々もこのクモの BBS に参加して頂き，クモ好きの方々と色々と勉強して（遊んで）いきませんか？

また，ここで，とやかく説明しても，イメージできないと思いますので，是非とも下記から参加して下さい .

クモ蟲画像掲示板 <http://xbbs.knacks.biz/kjrshoji>

なお，管理人の「きどばんさん」は，東京蜘蛛談話会の会員の方です . そのうち，その方の実体がおわかりになると思います . 私はわかりやすい名前です時々参加しています .

5年目のくも合戦

八幡秋山 沙和

(荒川区立瑞光小学校5年)

「今年も、勝てる気がする。」

私は、バスの中で思っていた。

私は、今年の鹿児島県加治木町くも合戦に参加するため、コガネグモを採りに、鹿児島県の串良(くしら)に行った。今年でくも合戦の参加は、5年目だ。去年は、3匹のクモがそれぞれ3勝して、「合戦の部」優勝。今年の串良は、あまり、クモが見つからなかった。私の中でも、行きのバスの中で思ったことと全く反対の「今年は、勝てそうにない……」と思っていた。

家での練習試合を始めた。私も練習用のコガネグモでくも合戦の行司の人みたいに、試合をやってみた。クモを大切に扱うのは、難しい。かんだりかまれたりしたら、すぐに止めなければいけない。そんなことを何回もやっているくも合戦の行司の人は、大変だと思う。行司の人の気持ちがよく分かった。くも合戦へ出場するクモを選んだ。くも合戦の6月15日は、もうすぐだ。金曜日に鹿児島へ行き、2日間クモを現地で空気に慣れさせる。出発前の木曜日、私は、全然眠れなかった。くも合戦で勝てるかとか優勝してしまうかもしれない……などといろんな思いでいっぱいだった。

金曜日、学校を早歩きして、鹿児島に向かった。大切なクモと一緒に飛行機に乗り込みワクワクした気持ちになった。加治木に着き、ホテルに泊まった。クモを紙コップから取り出し、かごにいれた。次の日、出場させる3匹を最終的に決めて、クモに名前を付けた。「タイガー」と「サオリン」と「メイおばさん」という名前。タイガーは、トラの様に

強いクモという意味で付けた。サオリンは、オリンピック・バレーボール日本チームで私が一番好きな木村沙織のニックネームなので付けた。メイおばさんは、スパイダーマンの主人公ピーター・パーカーを育てた叔母さんで、映画では怪物ゴブリンに勝ったことがある。

鹿児島に来て、練習試合はやる。出場するクモは、熱心に戦わせる。でも、噛まれたら、明日の様子をみたり、



家で練習試合

ちがうクモを選ばなければならない。夜、明日がくも合戦当日だと思つと、ワクワクしたり、対戦順番が気になったり、勝てるかが心配になってきて、眠れなかった。

・・・・・・・・・・・・・・・・くも合戦当日！！・・・・・・・・・・・・・・・・

何より朝は、クモの体調が心配だった。真っ先に、クモのところへかけよつた。クモは、張りたての網の真ん中で堂々としていた。最後の練習試合をしたらタイガー、サオリン、メイおばさんは、戦う気満々だった。すぐに大会の会場へ向かつた。出場順をみると3番目だった。去年と1番ちがいだ。「子供の部」は、59人が3匹ずつ参加させていた。毎年3勝グモを出す強い家族もある。私は「どんな強い相手でも勝てるかもしれない」と勝つことを願っていた。地元のくも合戦保存会の会長さんと焼鳥屋さんも応援の声をかけてくださった。さっそく、準備を始めた。クモを並べ、異常はないか確かめた。そして、クモを出す順番を決めた。

最初は、タイガー。次に、サオリン。最後に、メイおばさんを出す。1番最初のタイガーに私は、そつと話しかけた。

「タイガー、どんなことをしてもいいから必ずかってね！」そう言つたとき、タイガーは、「うん。かんばる。絶対に勝つ！！！」と言つたように聞こえた。

1匹目の対戦。私は、タイガーに「頑張れ！」という一言を伝えた。第1回戦が始まつた。私は、手を組みタイガーを見つめた。必死に頑張っているタイガーをみて、とても心が感動していた。1回戦、

タイガーは、相手が棒から糸を引き下がつたところで糸を噛み切る「糸切り技」で、すぐに勝つた。そして2回戦、タイガーは、相手の腹部をに糸をかける糸かけ技で一瞬で勝つたので、私は、「すごいつ！！」と思つた。さらに3回戦も、糸切り技ですぐに勝つてしまつた。私は、タイガーに何度も感謝をした。「勝ち方がいい。これはいける」と父さんが言つた。3勝した私は、うれ



どんな強い相手でも勝てるかもしれない

し涙が出た。3勝するのは、こんなにうれしいことなんだと思った。

対戦が進んでしばらくすると、2匹目、サオリンの番だ。私は、サオリンに、「何をやってもいいから、必死に戦ってね！」そう言った。サオリンは、「うん」と言っていた気がする。サオリンは、糸をかけられて、負けてしまった。でも、あと、1匹残っている！3匹目、メイおばさんの番。メイおばさんにも、「何でもしていいから、絶対絶対勝ってね！」メイおばさんからは、何も聞こえなかったが、これからが勝負！！ここで、私の勝負が決まる。・・・・・・・・・・3回戦目が始まった。メイおばさんも必死に戦っていた。だが、メイおばさんは、糸をかけられて負けてしまった。

3勝したクモは王将戦の部に進んで、いちばん強いクモを決める戦いに参加する。私は、次の王将戦で、どうしても、タイガーに勝ってほしかった。勝って、王将戦の優勝をねらいたかったのだ。私は、タイガーに、「絶対勝ってね。勝って優勝したいから！」とそつと話した。「タイガーは、はじめの3回は短時間で勝ったから、まだ元気が残っているはず」と思い、もしかしたら、優勝できるかもしれないとワクワクしていた。

王将戦トーナメントは23匹の3勝ぐもが参加。1回戦目が始まった。毎年優勝候補になる家族のクモが対戦相手だ。去年は、この家族に王将戦で私の2匹のクモが負けた。「絶対勝てない」と思った。



タイガー、絶対勝ってね！

はげしい戦いになり、糸にぶらさがりながら空中でとつきみ合いになった。そして・・・・・・・・・・タイガーが切った！！優勝候補に勝って、私は、「信じられない。去年より上の決勝までいけるかもしれない」と思った。

そして、2回戦も相手は、くも合戦保存会会長の吉村さんの家族のクモだ。相手は、脚が長くて、度胸あるクモにみえた。戦いが始まった。相手のクモが糸かけをしようとしたので、タイガーは、素早く相手の背中の下に入り込み逆に、糸をかけたのだ。カッコいい勝ち方だ。

王将戦の3回戦目は準々決勝。優勝できるかもしれないと思っていた。準々決勝が始まった。さっき、プレスレットをくれて、応援



タイガーは「シュピン！」と鎌で切るような動作で糸をかみ切った

してくれたおばあちゃんの孫とあたることになった。

でも、タイガーは、容赦ない。

タイガーは、相手を棒から 2 回振り落とし、相手が糸をひいて振り落とされた時に、「シュピン！」と鎌で切るような動作で糸をかみ切った。まるで、強いサムライのようだった。王将戦の去年の記録はベスト 8 入りで、今年は、これで、ベスト 4 なので自己新記録を出せた。私は、そのことに、感動していた。もし、優勝できなくても、新記録を出せたことは、とてもうれしい。

とうとう、準決勝戦。この準決勝戦で勝てば、1 位か 2 位になれる。だが、タイガーに少し変化があった。タイガーは、だいぶ疲れているみたいだった。私は、心配だった。準決勝戦が始まった。やはり、タイガーは、疲れていて、あまり元気がなかった。がんばって最後の力を振り絞り、頑張っていたが、糸を引いて下に下がりがち。糸を切られて負けてしまった。けれど、タイガーは、王将戦の前の戦いも合わせたら、7 回も戦って 6 回も勝っているのだ。

王将戦は、強いクモばかりが集まっただろう。しかし、その中で、タイガーは、準決勝まで勝ち抜いたのだ。私は、とても誇りに思う。それに、私の中で新記録を出してくれたのは、タイガーだ。それは、王将戦で優勝するよりも私は、うれしいと思う。もちろん優勝してもうれしいけど、クモが新記録をだしてくれたこと、一生懸命がんばってくれたこと。そんなことがうれしい。

王将戦で優勝したのは、地元の女の子（小 4）。バスで一緒に串良まで取りに行った仲間なので、それは、うれしかった。来年も、とっても強いクモをとり、強い名前をつけて、私の背と同じくらいの王将戦トロフィーをこの手にしたい。

ムツトゲ、マメイタとの出会い

吉野光代

ただ好きなだけでクモの種類もわからない私が、東京クモ談話会に入会してから 6 年になります。その後、談話会の会員でもあります新井浩司さんが行っている「西多摩自然フォーラム」主催のクモ観察会に出会い、少しずつですがクモの名前も覚えてきました。「西多摩自然フォーラム」は、西多摩地域でいろいろな里山保全活動を行っています。その一つ、あきる野市の横沢入りと言われている場所で生物部会が行われた 7 月 13 日、ムツトゲイセキグモ 幼体を見つけ、新井さんに確認していただきました。桑の木の地上 1m50cm ほどの高さの葉に静止していました。このムツトゲは、この場所が気に入ったらしくそれから 1 ヶ月以上同じ場所にいます。

8 月 9 日、10 日に新井さん主催の夜間観察会が開かれ、ムツトゲの投げ縄行動を観察する機会にも恵まれました。9 日、私が現場に着いた時にはすでに 3 連球の粘球を振り回していました。私達が色々と声を出すと、ある波長に呼応してブンブンと投げ縄を振り回して、楽しませてくれました。しばらくすると、投げ縄は自ら食べて回収してしまいました。と思うまもなく次の投げ縄をあっという間に作りました。今度は 2 連球です。もう大満足でした。

翌日 10 日は、フォーラムの観察会仲間と農大の学生、「ネイチャーシネプロ(有)」の吉田嗣郎さんもムツトゲのハイビジョン撮影の下見を兼ね、参加されていました。総勢 12 名が見守る中、19 時頃 2 連球を作り振り回し始めました。この時は、吉田さんの強力な赤色灯のおかげで、昨晚よりムツトゲがハッキリみえます。ある程度観察すると、みんな



投げ縄 (新井さん撮影)

な写真をとりはじめました。ムツトゲは気にする風でもなく、時々粘球を振り回します。21 時頃、解散しようとした時に、ムツトゲもその空気を読んだかのように投げ縄を食べて回収し、店じまいしてしまいました。

翌々日 12 日は、談話会会員である田島良久さんと再度ムツトゲを見に行くと、やはり 19

時頃 2 連球をつくり振り回しはじめました。今回は少しはなれた場所から赤色灯で照らしながらスコープで観察しました。粘球が光るように見えきれいでした。

3 日間、残念ながら蛾を捕らえる場面は見られませんでした。この横沢入りで、何かを捕らえ、食べ、ここまで成長してくれたのはとっても嬉しいことです。そして、近くに 3 匹を確認していたのですが、24 日に会いに行くと、嬉しいことに卵のう 1 個を作り元気でいました。また来年子供達に会えるかもしれません。

そんな楽しいクモとの出会いを重ねていた 8 月 15 日、飯能市でマメイタイセキグモを見つけました。去年、ツシマトリノフダマシを見つけた場所から 200m ほど奥に入った天覧山入りと言われている所で、狭いながらも昔の谷津田の面影が残っていて、周りを雑木林に囲まれている場所です。しばらくぶりにクモ観察に来て、草地の地上から 50cm ほどの高さのフジ幼木の葉に静止しているのを見つけた時は、まさかあ、こんな所に、そんなことあるはずない、などと思いながらその辺を走り回ってしまいました。そして震える手で新井さんに電話、仕事中心なかつながらない。近くに住んでいる田島さんに連絡。すぐ来てくれて 2 人で似ているよね、そうだよ、どうしよう。結局、翌日フォーラムで新井さん主催のクモ観察会があるので、持ち帰ることにしました。途中、やはりクモ談話会会員の嶋田順一さんに連絡。忙しい中、マメイタを見に飛んで来てくれました。夜 10 時頃、マメイタは、あちこち忙しく動きまわっています。野外でもこんなふうに動き回っているのでしょう。

翌日のクモ観察会で新井さんにマメイタ成体と確認していただき、他の参加者 2 名も元気に動き回る希少種のマメイタに感激しながら撮影。とりあえず涼しい所に置き、クモ観察会が始まりました。今日はトリフン各種、トゲグモ、スズミグモ、ゲホウグモ卵のうなどがみられました。夕方、マメイタを返すため天覧山入りに。フジの葉に止まらせると少し動き回り静止しました。しばらく眺め、近くに が居てくれて、子供ができ、来年も会えることを祈りながら帰りました。

希少種と言われているムツトゲ・マメイタと出会い、投げ縄も披露してもらえ、私にとって忘れられないとても楽しい夏となりました。

通信原稿投稿先：

通信担当 谷川明男 247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-4-2-1416

E-mail : dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp

談話会通信の原稿締め切りは、4 月例会総会直後、8 月末日、11 月例会直後です。

KISHIDAIA 原稿投稿先：

会誌担当 池田博明 258-0018 足柄上郡大井町金手 1099

E-mail : fwgd9084@mb.infoweb.ne.jp

キシダイアの原稿締め切りは、6 月末日と 12 月末日です。



力を大きな塊にして食べる ムツトゲイセキグモ

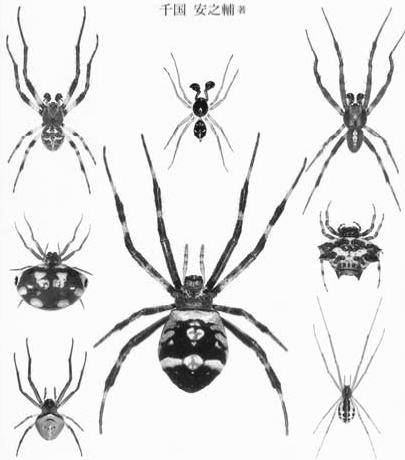
5月の観察会で発見されたムツトゲイセキグモを飼育中の張替さんから珍しい写真が送られてきました。餌に与えた力をかき集めて大きな塊にして食べているところだそうです。次号にはこのムツトゲ飼育記の漫画を掲載予定です。待て次号！（谷川明男）

（張替さん談）ムツトゲの基本的なテーブルマナーはエサを捕らえると、体2つ分くらい下に向かって降り、そこでラッピングをして元の位置に戻り食べ始める、というのですが、どーもその時は普段よりずっと下方、ピンの底近くにポジションをとってたので慌てて底に溜まっていた蚊もラップし始めちゃったようなのです。ちなみに塊は長いこと食べてましたが、さすがに食べきらずに捨ててました（苦笑）。

PICTORIAL ENCYCLOPEDIA OF SPIDERS IN JAPAN

写真日本クモ類大図鑑

千国 安之輔 著



写真・日本クモ類大図鑑（改訂版）

千国 安之輔【著】偕成社（2008/07 出版）

308p / 26cm / B5判 ISBN : 9784030033603

価格： ¥31,500 (税込)

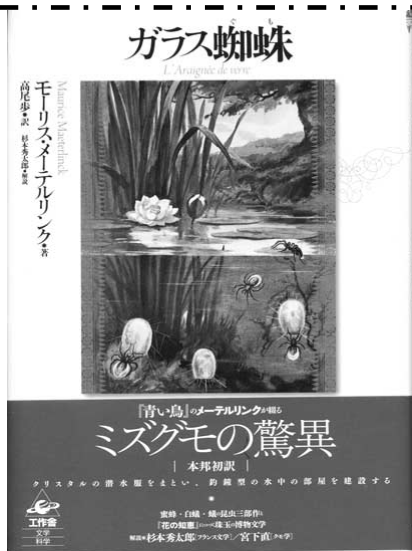
長らく絶版状態で入手することができなかった写真図鑑が改訂版として再発行されました。発行以来 20 年が経ち、種名などかなり変更すべき箇所が多くなりましたが、新海栄一さんの手により修正が加えられています。

旧時代の写植による版下のために、修正にはかなり制限があったとのお話ですが、とにかく実用的に役に立つ図鑑であることには異論のないところだと思います。

（谷川明男）

入退会は：事務局 初芝伸吾

〒186-0002 東京都国立市東 3-11-18-203 （有）エコシス
E-mail : hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp



ガラス蜘蛛

モーリス・メーテルリンク

高尾歩 = 訳 杉本秀太郎 = 解説

税込価格 1890 円 四六判/上製 144 頁

工作舎 ISBN978-4-87502-411-8

不思議な空気のアンブルに守られて、快適な釣鐘型の家に暮らすミズグモ。その生態を通して、生命や知性の源・継承へ思いをめぐらす。メーテルリンクのもうひとつの博物文学の名品、本邦初訳。幼い頃の記憶を綴った最後のエッセイ「青い泡」も収録。（工作舎ホームページより）

宮下 直氏による解説も掲載されています。



県別クモ類分布図 ver.2008

新海 明・安藤昭久・谷川明男 自刊

県別クモ類分布図 C D を Ver.2006 から Ver.2008 へバージョンアップしました。文献数 1264 本、分布データ 56044 件、分布図収録種数 1490 種、写真収録種数 797 種となりました。価格は前バージョンと同じく 1 枚送料込 8140 円ですが、Ver.2006 をご購入くださった方は 1 枚送料込 2140 円とさせていただきます。ご購入くださるかたは谷川までご連絡ください。

郵便：〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学農学部生物多様性 谷川明男

E-mail : dp7atnkw@j.asahi-net.or.jp

INAX ギャラリー

What a wonderful web! 「クモの網」展

3 月から大阪や名古屋で開催されていましたが、いよいよ東京でも始まりました。船曳さんによるクモの網の標本のすばらしさはクモ関係者だけでなく、一般の方々にも共感していただけたと思います。ぜひご観覧下さい。

会期 2008 年 9 月 4 日 (木) ~ 11 月 22 日 (土) 10 時 ~ 18 時 日祝日は休館

場所 東京都中央区京橋 3-6-18 INAX:GINZA2F 03-5250-6530

入場無料

2009 年度合宿について [予告]

次回合宿を 2009 年 7 月 18 日 (土) ~ 20 日 (月) の 2 泊 3 日で予定しています。場所は、長野県立科町女神湖付近です。北八ヶ岳の一峰、蓼科山の麓に位置し、標高は 1500 メートル程。涼しいところでゆったりとクモの観察ができるのではないのでしょうか。下見では、キタグニオニグモ、アカオニグモ、ホオジロハエトリなど、標高の高いところで見られる種が観察されました。

宿泊は、女神湖のほとりの民宿で、30 名以上集まれば貸切にしてくれるそうです。宿を押さえる都合があるので、2 月発行予定の次号通信で参加を募ります。多数のお申し込みをお待ちしております。担当：初芝，甲野



【アクセス】

新宿 茅野 (特急利用で 2 時間半)
女神湖 (東白樺湖経由バス 75 分)
東京 佐久平 (長野新幹線 1 時間 9 分)
女神湖 (バス 90 分)

キタグニオニグモ

2008 年 8 月 27 日 長野県立科町白樺
高原御泉水自然園

KISHIDAIA 創刊「40 周年記念号」の原稿募集のお願い

2009 年 1 月で KISHIDAIA が誕生してから、40 年になります。そこで、96 号 (2009 年 8 月発行予定) を「40 周年記念号」として出版することになりました。以下のような要領で会員からの記念原稿を募集しますので、たくさんのご投稿をお待ちします。

記念文：談話会の活動についての思い出、要望などなんでも構いません。字数制限もありません。

原稿送付先 〒258-0018 神奈川県足柄上郡大井町金手 1099 池田博明

fwgd9084@mb.infoweb.ne.jp

または、仲條竜太 r_nakajo@jcom.home.ne.jp まで。

締切は 2009 年 2 月末日を予定しています。

詳細については、〒192-0352 八王子市大塚 274-29-603

Tel 042-679-3728

新海 明まで